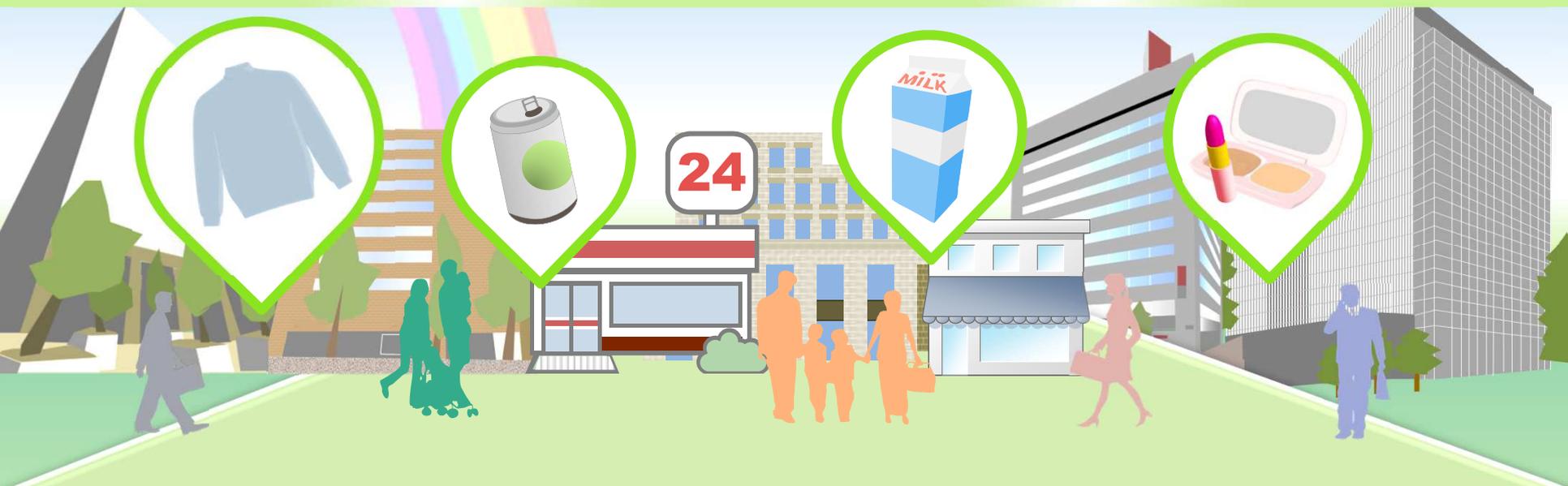


セクターアナリストの視点

よくわかる大手小売株



日本の小売市場

GDP 537兆円（名目）

個人消費 300兆円（名目）

GDPの56%

小売 140兆円

外食
25兆円

個人消費の55%

165兆円

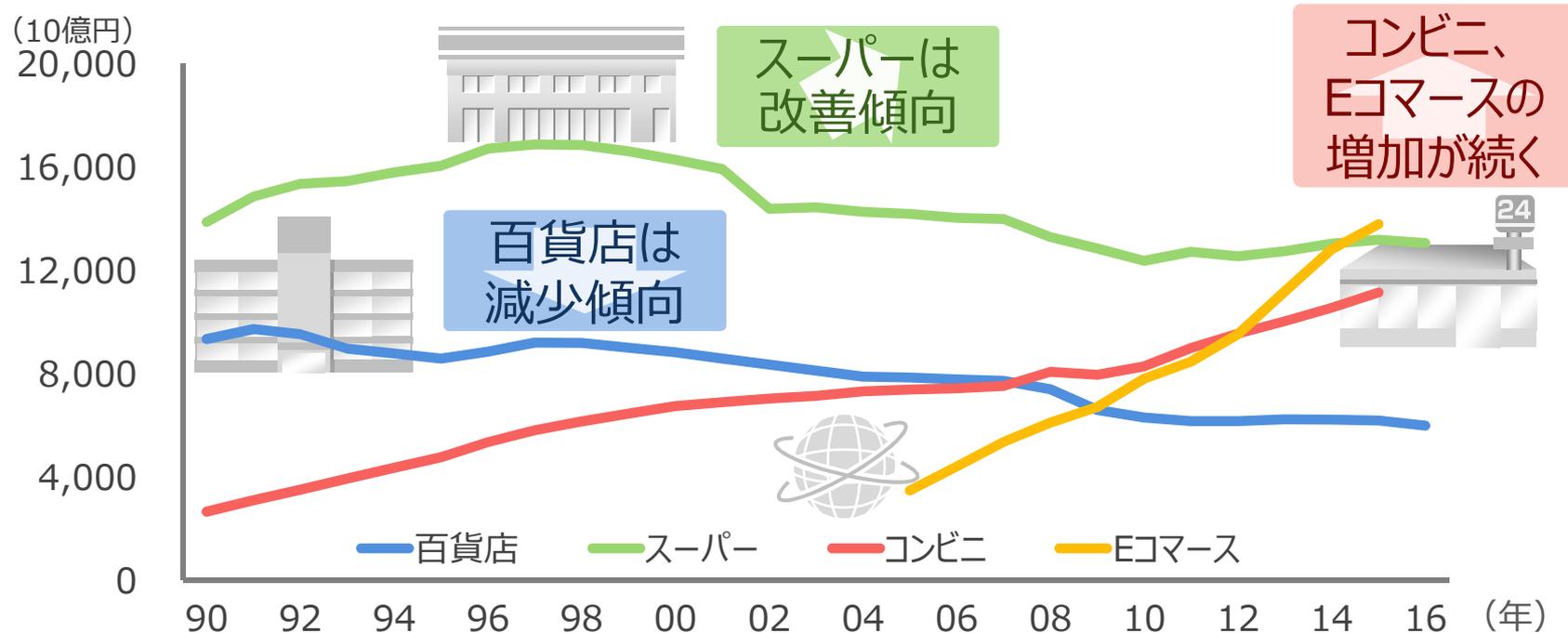
日本の小売市場は巨大!
自動車(国内出荷ベース)の

3倍弱



年間販売額の推移

小売市場全体は横ばい圏で推移



出所：日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、経済産業省より大和証券作成

小売株の特徴1

1

代表的な内需産業、
外需産業に比べ
業績は安定

2

知名度の高い企業・
身近な企業が多い

3

株主優待制度も魅力



株主
優待カード・券
買物の○%引

買物優待券・
食事券
○円相当



商品

自社商品など

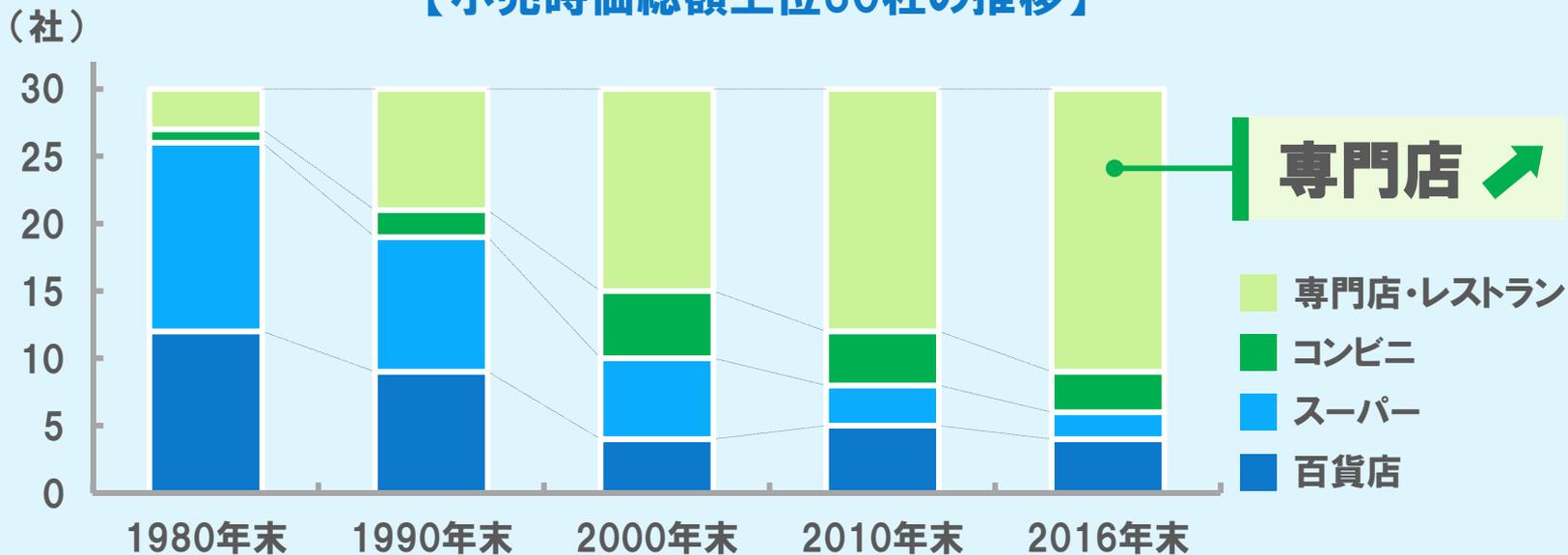
小売株の特徴2



栄枯盛衰は激しい



【小売時価総額上位30社の推移】



株価の変動要因をチェック



内部要因

- 月次売上高
- 決算
- 中期計画・成長戦略
 - 国内 シェア拡大、環境変化への対応
 - 海外 成長機会の拡大
- 業界再編

短期

長期



外部要因



- 経済指標
個人消費、消費者センチメント
雇用、所得、消費者物価指数
- 為替
- 政策
- 業界再編



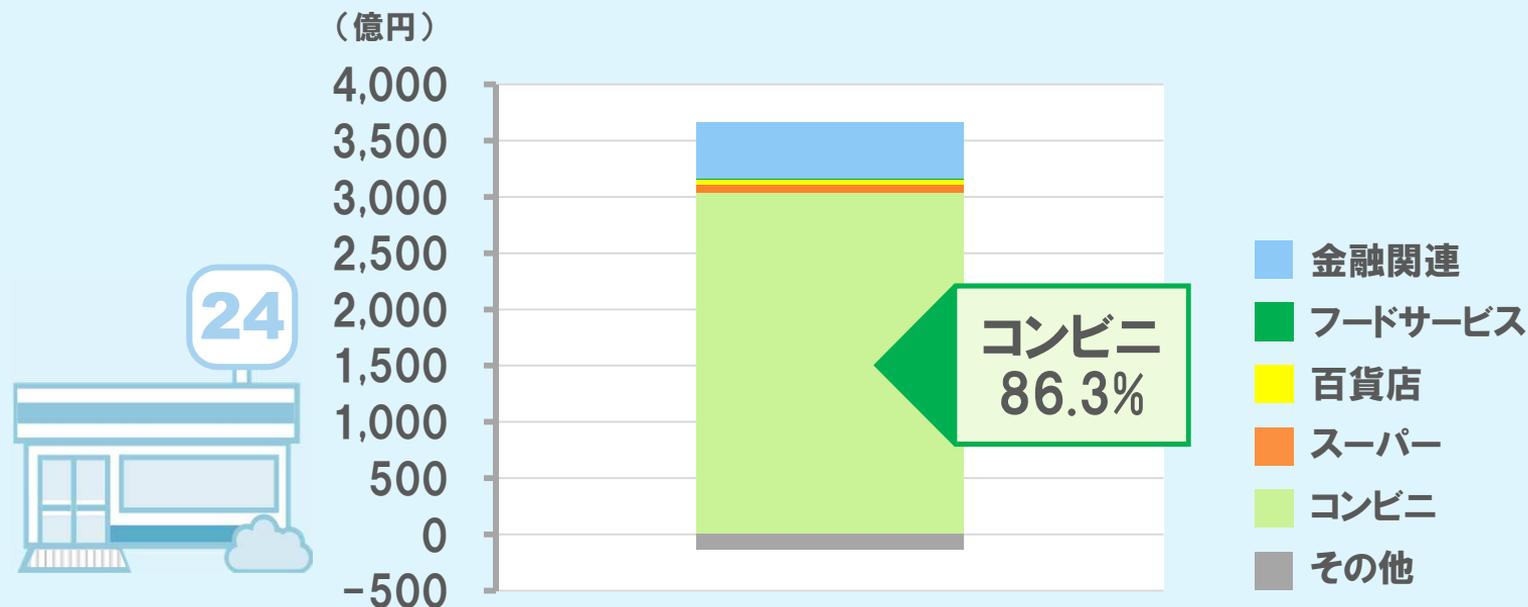
セブン&アイホールディングス (3382) ①

特徴	主な事業	株主優待
<ul style="list-style-type: none">■ 2大小売グループの一角■ コンビニ最大手、幅広い事業を展開■ コンビニは国内、米国で高い競争力を誇る■ 展開エリアは全国	<ul style="list-style-type: none">■ コンビニ セブン-イレブン・ジャパン セブン-イレブン・インク(米国)■ 総合スーパー イトーヨーカ堂■ 食品スーパー ヨークベニマル■ 百貨店 そごう・西武 店舗名はそごう、西武■ 金融関連 セブン銀行(8410) 	<p>なし</p>

セブン&アイホールディングス (3382) ②

セグメント別営業利益

3,523億円 (2015年度)



イオン (8267) ①

特徴

- 2大小売グループの一角
- 総合スーパー最大手幅広い事業を展開
- ショッピングセンター(SC)や金融に強み
- 展開エリアは全国

主な事業

- 総合スーパー
イオンリテール
- 食品スーパー
マックスバリュ各社、ダイエー
- ディベロッパー
イオンモール(8905)
- 総合金融
イオンフィナンシャルサービス(8570)
- ドラッグストア
ウエルシアHD(3141)
- コンビニ
ミニストップ(9946)

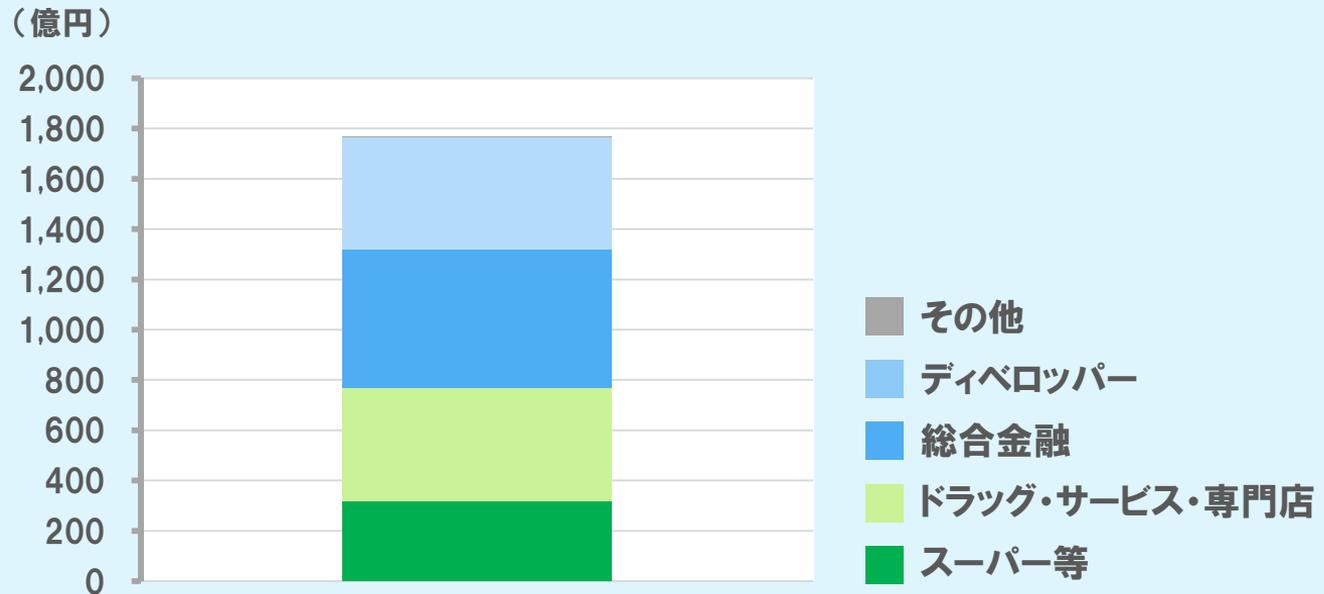
株主優待 (最小単位)

- 優待カード
100株以上で3%返金、買物金額上限は半期で100万円
- 自社ギフトカード
1,000株以上を3年以上保有すれば2,000円相当

イオン (8267) ②

セグメント別営業利益

1,769億円 (2015年度)



J. フロント リテイリング (3086) ①

特徴

- 百貨店を中心とした大手小売グループ
- 17年度から新しい中期計画(5ヶ年)がスタート
- 銀座をはじめ複数の再開発プロジェクトが進行中
- 展開エリアは全国

主な事業

- 百貨店
大丸松坂屋百貨店
店舗名は大丸、松坂屋
- 専門店ビル
パルコ(8251)
- 卸売
- クレジット

株主優待 (最小単位)

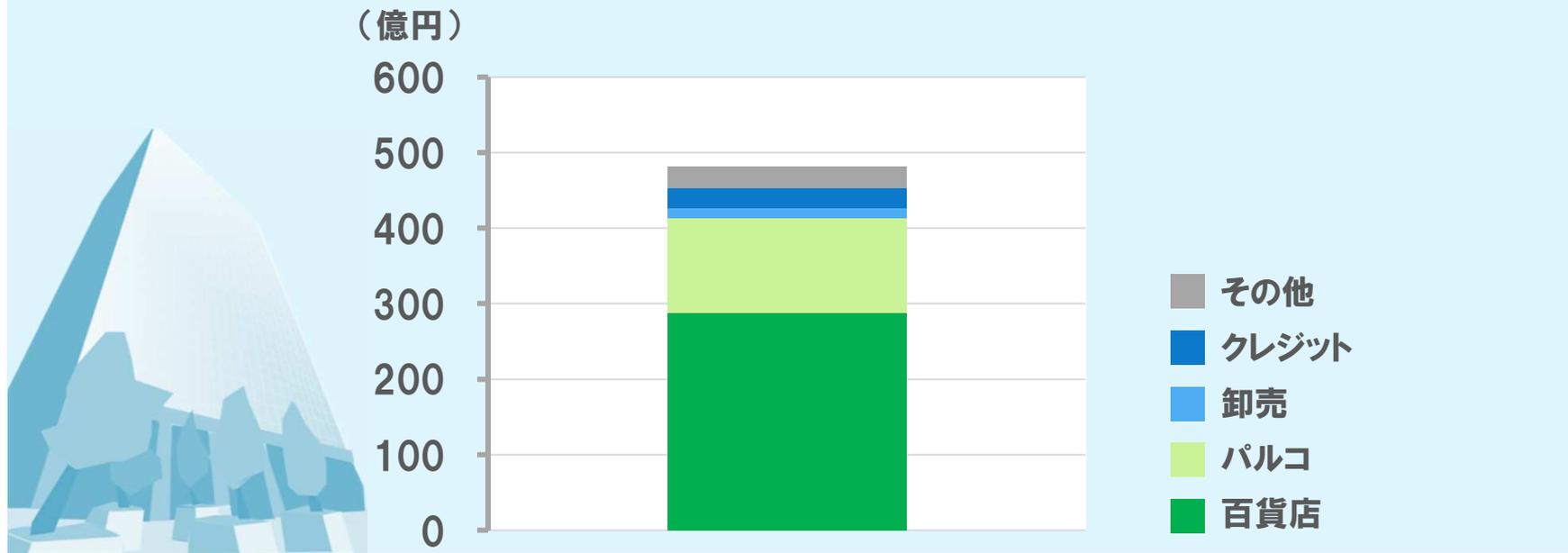
- 優待カード
100株以上で
10%引き、買物
金額上限は年間
50万円

- 各店の有料文化
催事の入場料が
無料

J. フロント リテイリング (3086) ②

セグメント別営業利益

480億円 (2015年度)



エイチ・ツー・オー リテイリング (8242) ①

特徴

- 関西地盤の百貨店大手
阪急阪神東宝グループ
- 百貨店を中核とした関西
ドミナント化戦略を推進
- 阪急うめだ本店は西日本
で最大の売上高を誇る
- 展開エリアは関西が中心

主な事業

- 百貨店
阪急阪神百貨店
店舗名は阪急、阪神
- 食品
イズミヤ(総合スーパー)
阪急オアシス(食品スーパー)
- 不動産
- クレジット

株主優待 (最小単位)

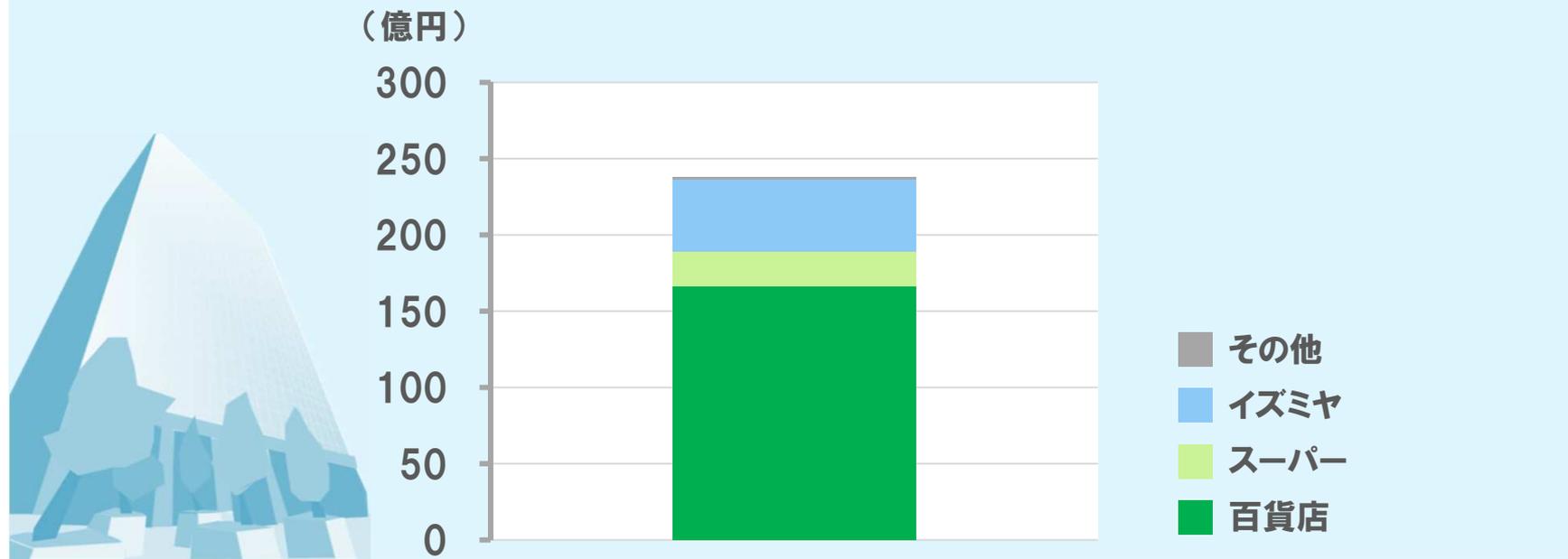
- 優待券
100株以上で5枚
百貨店は10%引き
スーパーは5%引き

- 500株以上を3年
以上保有すれば
10枚+10枚

エイチ・ツー・オー リテイリング (8242) ②

セグメント別営業利益

238億円 (2015年度)



注: 旧セグメント 出所: 会社資料より大和証券作成

イズミ(8273) ①

特徴

- 総合スーパー準大手SCに強み
- 成長戦略の柱はエリア内のシェア拡大
- 業界屈指の収益力資本効率を誇る
- 展開エリアは中国・四国、九州地方

主な事業

- 小売
イズミ
(総合スーパー、食品スーパー)
店舗名は
SC:ゆめタウン
食品スーパー:ゆめマート
ゆめマート(食品スーパー)
ユアーズ(食品スーパー)
- 小売周辺
ゆめカード(金融)
イズミテクノ(店舗管理)

株主優待 (最小単位)

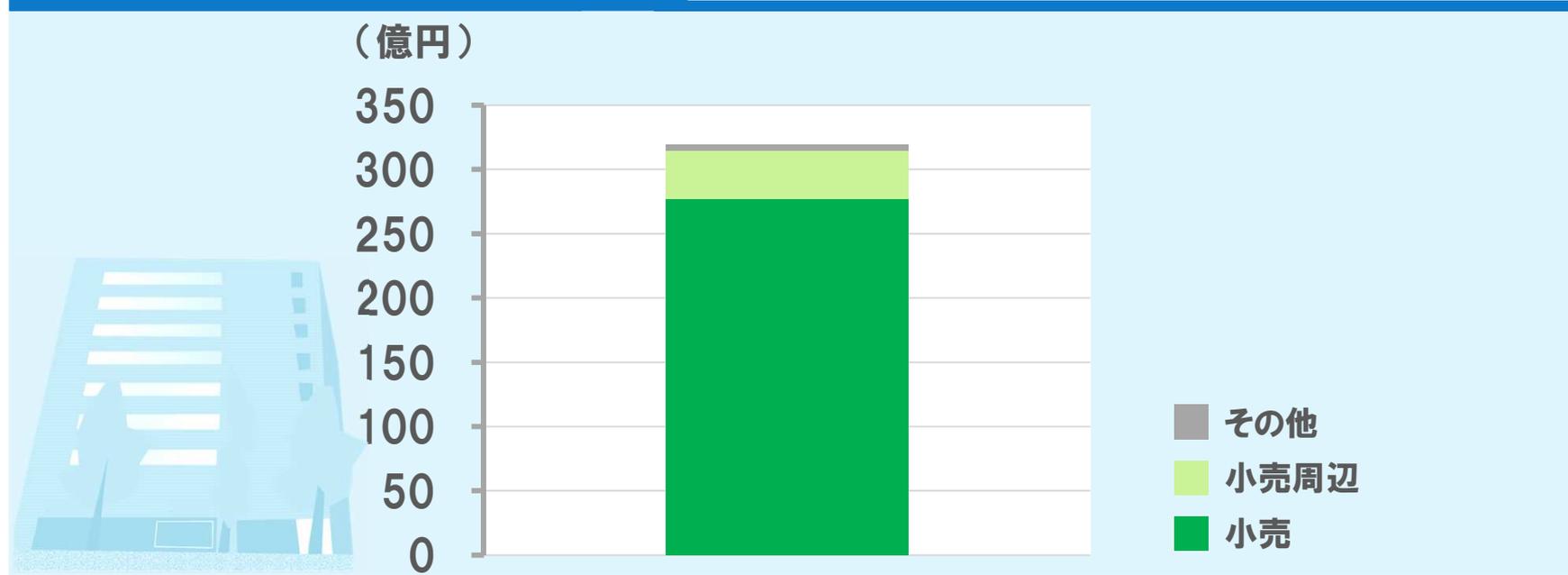
- 優待券(200円)
またはギフト券
100株以上で優待券
10枚、またはギフト券
500円相当

- 優待券は2,000円以上の
買物で2,000円毎に
1枚利用可能

イズミ(8273) ②

セグメント別営業利益

319億円(2015年度)



まとめ

投資スタイル



安定性重視

株価変動が小さい

- コンビニ
- 食品スーパー
- ドラッグストア



リターン重視

成長期待が高い

- 規模の小さい企業
- 地域の勝ち組企業
- 海外で成功する企業

株価変動が大きい

- 百貨店
- 嗜好品を扱う専門店



株主優待重視

店舗が身近にある企業



開示事項

【株式レーティング記号について】

株式レーティング記号は、今後12ヶ月程度のパフォーマンスがベンチマークとする株価指数の騰落率と比べ、以下の通り判断した事を示します。

- 1 (買い) =15%以上上回る
- 2 (アウトパフォーム) =5%~15%上回る
- 3 (中立) =±5%未満
- 4 (アンダーパフォーム) =5%~15%下回る
- 5 (売り) =15%以上下回る

各国におけるベンチマークは以下の通りです。

日本：TOPIX、米国：S&P 500、欧州：STOXX Europe 600、香港：ハンセン指数、シンガポール：ストレイト・タイムズ指数、韓国：韓国総合指数、台湾：加権指数、オーストラリア：S&P ASX200指数

【利益相反関係の可能性について】

大和証券は、このレポートに記載された会社に対し、投資銀行業務に係るサービスの提供、その他の取引等を行っている、または行う場合があります。そのような場合には、大和証券に利益相反が生じる可能性があります。

【当社及び大和証券グループについて】

大和証券は、(株)大和証券グループ本社の子会社です。

【保有株式等について】

大和証券は、このレポートに記載された会社が発行する株券等を保有し、売買し、または今後売買することがあります。大和証券グループが、株式等を合計5%超保有しているとして大量保有報告を行っている会社は以下の通りです。(平成29年2月28日現在)

大末建設(1814) イチケン(1847) ゲンキョー(2772) ティーライフ(3172) 日本ヘルスケア投資法人(3308) ケー・エフ・シー(3420) ケイアイスター不動産(3465) 大江戸温泉リート投資法人(3472) ウイルプラスホールディングス(3538) コーエーテックモホールディング(3635) ディー・エル・イー(3686) 神島化学工業(4026) テイクアンドギブ・ニーズ(4331) トリケミカル研究所(4369) ノザワ(5237) 中山製鋼所(5408) 東邦亜鉛(5707) 東京製綱(5981) リンクバル(6046) ウィルグループ(6089) 日進工具(6157) 鎌倉新書(6184) 三相電機(6518) ダブル・スコープ(6619) アドバンテス(6857) エノモト(6928) 太陽誘電(6976) アストマックス(7162) GMOクリックホールディングス(7177) トランザクショ(7818) 大興電子通信(8023) マネーパートナーズグループ(8732) 大和証券オフィス投資法人(8976) 日本賃貸住宅投資法人(8986) セレスポ(9625) 帝国ホテル(9708) パーカーコーポレーション(9845) (銘柄コード順)

【主幹事を担当した会社について】

大和証券は、平成28年3月以降下記の銘柄に関する募集・売出し(普通社債を除く)にあたり主幹事会社を担当しています。

浅沼組(1852) ヨシムラ・フード・ホールディングス(2884) 鳥貴族(3193) アクティブア・プロパティーズ投資法人(3279) SIA不動産投資法人(3290) イオンリート投資法人(3292) ヒューリックリート投資法人(3295) BEENOS(3328) トーセイ・リート投資法人(3451) ケネディクス商業リート投資法人(3453) サムティ・レジデンシャル投資法人(3459) ケイアイスター不動産(3465) 三井不動産ロジスティクスパーク投資法人(3471) 農業総合研究所(3541) コメダホールディングス(3543) デファクトスタンダード(3545) 串カツ田中(3547) パロックジャパンリミテッド(3548) スシローグローバルホールディングス(3563) ドリコム(3793) グローバルウェイ(3936) シルバーエッグ・テクノロジー(3961) エイトレッド(3969) マクロミル(3978) ユーザーローカル(3984) OATアグリオ(4979) リクルートホールディングス(6098) アトラエ(6194) リファインパス(6531) 日宣(6543) キーエンス(6861) ジャパンインベストメントアドバイザー(7172) リンガーハット(8200) 大垣共立銀行(8361) イオンフィナンシャルサービス(8570) オリックス不動産投資法人(8954) 大和証券オフィス投資法人(8976) 大和ハウスリート投資法人(8984) ジャパン・ホテル・リート投資法人(8985) ファイズ(9325) レノバ(9519) (銘柄コード順)

【その他の留意事項】

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。レポートに記載された内容等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。内容に関する一切の権利は大和証券にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかにも為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号
加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会